

<学位申請提出書類チェックリスト【メール添付データファイル提出用】>

氏名	鶴舞 花子
㊟・否	受理審議が実施される大学院教授会(13:30～)への指導教員(原則:教授のこと)の出席可否

※ 提出漏れがないかチェック(✓)を入れ、メールにて学位申請書類提出の送信時に併せてご提出ください。

※「研究発表会の有効期限切れ」もしくは「研究テーマの変更による再発表」該当者は、申請要領のとおり、学位申請書類の提出前に、再度、研究発表会もしくは公開発表会にて予備審査を実施し、可と判断されたことの確認が必要です。

重要

✓	1.【修了予定者のみ】 学位申請書類提出の(大学の実働日で) 10日前までに修了要件確認表	「申請書類を提出する前の事前準備について」をよく読み、 「大学院係に確認しておくこと」として「修了要件確認表」を 学位申請書の提出の(大学の実働日で)10日前までにメール添付で確認依頼をする。 10日の間に連絡が無ければ学位申請書類の提出が可能となります。
✓	2.【修了予定者／満退退学後学位申請者】 学位申請書類提出の前までに	「申請書類を提出する前の事前準備について」の「学位申請者をご自身で確認・ 依頼等、終えておくこと」の項目について、必ずご確認ください。

チェック欄	提出書類	確認事項
✓	主論文1部(主著の英文の論文)	最新バージョンで提出してください。 ・Publishされた論文のPDF。 ・著者最終原稿の場合はWord本文と図表や説明文をPDF化したもの。 (可能であれば、本文と図表を1つのPDFにしてください。 難しいようでしたら本文PDFと図表PDFの2つに分かれていても結構です。)
✓	掲載予定証明書またはアクセプトメール (Webや雑誌に論文が未公表の場合のみ)	PDF化したもの。 既に公表済みの方は不要です。
✓	同意書 (筆頭著者が複数の場合のみ) ※「別紙8」7でYesを選択されている方は 不要です	※ 筆頭著者が複数の場合のみ(※別紙8の7. でNoを選択している方のみ) 学位申請者の氏名が1番最初に書かれていても、提出が必要です。 ・筆頭共著者 ・責任著者 それぞれの押印が必要です。(外国人は押印箇所へのサインで可とする) ただし、同じ「同意書」の用紙への押印(サイン)が困難な著者が居る場合は、別の 「同意書」の用紙への押印(サイン)を依頼して、最終的に合わせて全員分を揃えて 1つのPDFに。 メール提出の段階では未押印(サイン)Wordファイルでも結構です。
✓	主論文の要旨1部 (生協印刷部で校正を依頼し、レイアウトが 整ったPDF) 生協印刷部で作成したことを証明する書類 (生協印刷部にて発行のPDF)	※校正の依頼前に必ず指導教員に内容を確認していただくようにしてください。 【表紙】 ・学位論文の題目は大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を 原著に揃えてください。 ・専攻、講座、専門分野名はHPの一覧で確認してください。 ・氏名は、戸籍抄本の氏名です。旧字体に注意してください。 ・留学生は自国証明書の氏名にしてください。(大文字・小文字・氏名順) 【本文】 ・FigureとTableを除いて日本語は(MS明朝 10.5ポイント)英数字は(Times New Roman 10.5ポイント)で、2000字～3000字、(38字×38字)A4で2ページ強になります。 ・留学生は英語可(Times New Roman 10.5ポイント)で800～1200wordsです。 ・緒言～結語で順序立てて作成してください。 ・FigureとTableは本文の次のページから始めて、本文を説明するのに 必要な分のみ載せるようにしてください。 ・Legendの位置 Figure(下)、Table(上)で作成してください。 ・Referenceは不要です。
✓	学位申請書	メール提出の段階では、指導教授印(教授または代理教授不在の分野は、 准教授または特命教授印)は未押印のものでも結構です。
✓	履歴書5-1	・氏名は、戸籍抄本の氏名です。旧字体に注意してください。 ・留学生は自国証明書の氏名です。大文字・小文字・氏名順に注意してください。 ・学位論文の題目は大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を 原著に揃えてください。 ・学位論文題目の日本語訳は、主論文の要旨の日本語訳と同題目に してください。
✓	履歴書5-2	
✓	論文目録	
✓	履歴表	最新のインパクトファクターの数値を4. 公表の最後に入力してください。
✓	博士論文のインターネット公表確認書(別紙6)	公表可能時期に条件がある場合は【全文の公表の保留を希望】、 公表不可の場合は【要約の公表を希望】を選択し、事由を記載してください。
✓	別紙6公表可否に関する裏付資料(メール文 またはHPの著作権ポリシーの該当部分)	根拠となる該当部分に、蛍光ペン等でラインを引いた上でPDF化したもの。
✓	学位論文に関する情報開示(別紙8)	Yes, Noはプルダウン形式になっています。 メール提出の段階では、指導教員(原則、指導教授)の自署・押印は未記入・未押印の もので結構です。

⇒裏面へ⇒

チェック欄	提出書類	確認事項
✓	PubMedの MEDLINE および Web of Scienceの SCIE 掲載誌 であることの裏付(各1枚)	HPの検索方法に従い、指定の画面を印刷の上、該当部分に蛍光ペン等でラインを 引いてPDF化したもの。
以下、副論文または参考論文がある場合のみ。副論文、参考論文がない場合には提出不要。		
✓	副論文1部 研究内容が主論文と直接関係あるもの	最新バージョンで提出してください。 ・Publishされた論文のPDF。 ・著者最終原稿の場合はWord本文と図表や説明文をPDF化したもの。 （可能であれば、本文と図表を1つのPDFにしてください。 難しいようでしたら本文PDFと図表PDFの2つに分かれていても結構です。）
	参考論文1部 研究内容が主論文と直接関係がないもの	最新バージョンで提出してください。 ・Publishされた論文のPDF。 ・著者最終原稿の場合はWord本文と図表や説明文をPDF化したもの。 （可能であれば、本文と図表を1つのPDFにしてください。 難しいようでしたら本文PDFと図表PDFの2つに分かれていても結構です。）
以下、留学生の場合のみ。日本人学生は提出不要。		
	パスポートの写し	PDF化したもの。
	自国で発行された卒業証明書	PDF化したもの。 学部(※修了・退学等している場合は修士、博士も)

主論文の要旨

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population

※ 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える

日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノ
ゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との
有意な関連

※ 全ての書類の日本語訳について、こちらと同題目にしてください。

専攻名、講座名、分野名は入学年度のシラバスで確認してください。

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻
病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学分野

原則、指導教授(教授、または
代理教授。不在の場合は准教授 → (指導 : ○○ ○○ 教授)
または特命教授)

鶴舞 花子 ←旧字体に注意(戸籍抄本の氏名)

留学生は自国で発行された卒業証明書
のとおり記載のこと

様式及び記入例

※申請当日の年月日

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

医学系研究科長 殿

2020年度入学

専攻名 総合医学専攻
専門分野名 糖尿病・内分泌内科学
氏名 ふりがな 鶴舞 つるまい 花子 はなこ



学 位 申 請 書

名古屋大学学位規程第2条の規定により、関係書類を添え申請いたします。

指導教員 承認印	
-------------	--

受付年月日	年 月 日
受付番号	第 号

※事務記入欄

報告番号	第	号
学位記番号	第	号
授与年月日	年	月 日

履 歴 書

ふりがな 氏 名※1	つるまい はなこ 鶴舞 花子 旧字体に注意(戸籍抄本の氏名) 留学生は自国で発行された卒業証明書の とおり記載すること 全ての書類で同じ表記にすること	外字の 有無 ※2	☐ あり ☒ なし
氏 名 (英字: Block capital)※1、3	姓(Surname) 名(Given name) (Middle name) 姓は全て大文字 名は最初の1文字のみ大文字 TSURUMAI Hanako		
生年月日 (西暦で記入)	1990 年 4 月 24 日 プルダウン	性別	女 プルダウン
本 籍 地 (外国籍は国籍を記入)	愛知県 プルダウン		
現住所	名古屋市昭和区〇〇町1-2-3 自宅住所		
学位取得後の連絡先	【住 所】 名古屋市昭和区〇〇町1-2-3		
	【電 話】 052-〇〇〇-△△△ 【携 帯】 090-〇〇〇-△△△		
	【Email】 〇〇〇@△△△△.××.jp		
所属研究科名 (論文博士は論文提出研究科名)	医学系研究科		
所属専攻名 (論文博士は記入不要)	総合医学専攻		
修了(予定)または満期 退学年月日 (論文博士は記入不要)	2024 年 3 月 25 日 修了 修了、短縮修了、満期退学をプルダウンより 選択		
学位論文題目	Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える		
学位論文題目翻訳 ※4	日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲン アクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連 主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。		
学位の種類	博士(医学)		
プログラム名 ※5	プルダウン		

※1 学位記は本履歴書に記載された氏名表記に基づいて作成します。わかりやすく明確に記入すること。

※2 学位記氏名に外字または旧字体、異体字等が使用されている場合は「あり」、なければ「なし」に
チェックをしてください。パソコン上で入力ができない表記を含む場合は所属の教務課へご相談ください。

※3 英字氏名は、姓のみ全て大文字、後は最初の1字が大文字で残りを小文字で書くこと。

※4 論文題目が外国語の場合は、日本語訳を必ず記入すること。論文題目が日本語の場合で、
研究科の指示がある場合は、英語訳を記入すること。

※5 リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラム修了(予定)者のみ記入すること。

報告番号※事務記入欄	第 号
氏 名	鶴舞 花子
学歴(大学卒業以降、すべて記入すること)すべて西暦で記入してください。	
2015年3月10日	名古屋大学医学部医学科卒業
2015年6月1日	大垣市民病院にて研修開始 学部卒業後の2年間の研修期間
2017年3月31日	同修了
2020年4月1日	名古屋大学大学院医学系研究科博士課程総合医学専攻入学
2024年3月25日	同修了見込
研究歴	
なし	
(研究生として在学したことのある方のみ記載してください。)	
2017年4月1日	名古屋大学医学部研究生入学
2018年3月31日	同終了 ※ 留学生は名古屋大学大学院医学系研究科大学院研究生入学
職歴	
今現在までの職歴(常勤のみ)を全て記載してください。 勤務先の機関名(会社名、病院名など)勤務 部、課、科や役職は不要です。	
2017年4月1日	大垣市民病院勤務
2018年3月31日	同退職
2018年4月1日	社会保険中京病院勤務
2022年3月31日	同退職
2022年4月1日	名古屋大学医学部附属病院勤務
	現在に至る

→
31日卒業の
大学は殆ど
ないため
卒業証明書
などで必ず
ご確認ください。

→
2年間の研修
期間の続き
から記載して
ください。

論文目録

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	鶴舞 花子
主 論 文 題 目 大文字・小文字の使い分け、イタリック、スペース等を原著に揃える。 冊 Significant association of <i>urokinase plasminogen activator</i> Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population 主論文の要旨の日本語訳と同題目にしてください。 (日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型Pro141Leuと血清脂質特性との有意な関連) Gene Therapy 5巻3号 2024年2月掲載予定 8枚 ・ 投稿原稿の場合、又は最終形が出版であるがWeb掲載段階の場合⇒ <u>掲載予定</u> ・ 最終形がWeb版でWeb掲載されている場合⇒<u>掲載</u> ・ 既に出版されている場合⇒<u>発行</u> ・ 投稿原稿の場合は投稿原稿、又は最終形が出版の場合のWeb掲載論文を片面印刷した時の用紙の枚数(図表等を含む) ・ Web版が最終形でWeb掲載されている場合、もしくは出版されている場合は枚数の記入は不要 (既に印刷公表したものについては、その方法及び年月日、未公表のものについては、公表の方法及び時期を記入すること)				
副 論 文 研究内容が主論文と直接関係あるもの 冊 題 目 (同 上)				
参 考 論 文 研究内容が主論文と直接関係がないもの 冊 題 目 Low-dose granulocyte colony-stimulating factor enables the efficient collection of peripheral blood stem cells after disease-oriented, conventional-dose chemotherapy for breast cancer, malignant lymphoma and germ cell tumor (低用量の顆粒球コロニー刺激因子は、乳癌、悪性リンパ腫および胚細胞腫瘍に対する疾患志向の通常量の化学療法後の十分量の末梢血幹細胞採取を可能にする) Bone Marrow Transplantation 15巻1号 2023年3月発行 英文雑誌の場合は西暦で 和文雑誌の場合は元号で記入 (同 上)				

※様式を崩さず入力してください。

論文提出者の履歴表（課程）

[予備審査2023年 6月終了]

研究発表会の年月を記入してください。数字は全角。
ルビでふりがな

1. 氏名 ^{つるまい}鶴舞 ^{はなこ}花子 （1990年__4月24日生）

※数字は全角、1桁の場合は全角スペース。

入学年度のシラバスで確認してください。

2. 専攻 総合医学専攻2013年度以降入学者は全員、総合医学専攻です。
病態内科学講座 糖尿病・内分泌内科学

3. 論文題目および著者名 英文タイトルの大文字・小文字の使い分け、
イタリック、スペース等を原著に揃えてください。

Significant association of *urokinase plasminogen activator* Pro141Leu with serum
lipid profiles in a Japanese population

主論文の要旨の日本語訳と一致させてください。

（日本人の一集団におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーター多型
Pro141Leu と血清脂質特性との有意な関連）

全角スペース 読点 ※漢字氏名がある場合は漢字。

鶴舞__花子、学務 次郎、李 梅花、名古屋 三郎、ジェームス シー スミス、
名大-愛知 桜子

※英字氏名の場合はカタカナ

※論文で新姓・旧姓を記載している場合はその通りに記載。（ミドルネーム含む）

4. 公表 Gene Therapy 5巻3号 2024年2月掲載予定 8枚 IF:4.184

論文目録と一致させてください。数字は半角。 直近のインパクトファクターの数値

5. 指導教授 ○○○○原則、指導教授氏名(教授または代理教授不在の場合は
准教授または特命教授氏名) 氏名の姓と名の間は詰めてください。(姓または名が
1文字の場合のみ、姓と名の間に全角スペース。例：○○ ○、○ ○○○など)

6. 審査委員 (主) ○○○○__○○○○ ○○○○

教授氏名と教授氏名の間は全角スペース。

氏名の姓と名の書き方は5.と同じです。

7. 備考 2020年__4月__1日入学

2024年__3月25日修了見込

(休学期間：なし) 数字は全角、1桁の場合は全角スペース。

博士論文のインターネット公表確認書

2023 年 11 月 17 日

名古屋大学大学院 医学系研究科長 殿

※申請当日の年月日

学位の区分	課程	研究科・専攻	医学系研究科・総合医学専攻
学位授与 予定日	2024年 3月25日	ふりがな 氏 名	つるまい はなこ 鶴舞 花子

☐ 【全文の公表が可能】

提出した博士論文（全文）について、公表することに問題はありません。

※全文の公表にあたり、出版社等から、例えば論文の体裁を変更する等の条件の指定がある場合は、その内容が分かる書類を併せて提出してください。

☐ 【全文の公表の保留を希望】 ※ 保留期間中は要約を公表

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表の保留を希望し、保留期間中は要約を公表します。なお、下記事由の消滅等に伴う所定の届出書（様式：別紙7）については、自動的に公表となる場合を除き必ず提出いたします。

項 目	事 由	様式:別紙7 の提出時期
□図書出版	□出版済み。出版社の著作権ポリシーを確認した結果、(年 月 日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	□出版予定(年 月 月予定)で、出版社の著作権ポリシーを確認した結果、(出版後・ 年 月 日)まで公表することができない。	公表可能日 (直後)
	□出版予定(平成 年 月 月予定)で、出版社の著作権ポリシーを確認することができない。	出版予定日 又は出版日 (直後)
□学術ジャーナル等への掲載	□掲載済み。出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、(年 月 日)まで公表することができない。	提出不要・自動的に公表
	□掲載予定(年 月 月予定)で、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、(掲載後・ 年 月 日)まで公表することができない。	公表可能日 (直後)
	□掲載予定(年 月 月予定)で、出版社等の著作権ポリシーを確認することができない。	掲載予定日 又は掲載日 (直後)
□特許・実用 新案出願	□特許出願予定又は審査中(出願公開前) 出願(予定) : 年 月	出願公開日 (直後)
	□実用新案出願予定又は審査中 出願(予定) : 年 月	登録日 (直後)
□その他	(具体的な事由を記載)	事由の消滅日

☒ 【要約の公表を希望】 (全文の公表ができない場合)

提出した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表はできませんので、要約での公表を希望します。

(具体的な事由を記載してください) 出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、アクセプト原稿であれば出版の6ヵ月後に公表可能であるが、最終出版版である論文の全文公表は出来ない。本学位論文は最終出版版の論文であるため公表不可である。

(記入例) ・図書出版や学術ジャーナル等への掲載において、出版社等の著作権ポリシーを確認した結果、全文での公表ができない。
 (出版社等の著作権ポリシーを明記した書類の添付が必要)
 ・博士論文が立体形状による表現等を含むためインターネットでの公表ができない。
 ・秘匿すべき情報を含む又は公表することで重大な支障をきたす恐れがあるため。

※作成にあたっては、裏面の「作成の際の注意事項」を参照すること。

Sherpa Romeo

About

Search

TJ List

Statistics

Help

Support Us

Contact

Admin

Nature

Publication Information

Title	Nature (English)
ISSNs	Print: 0028-0836 Electronic: 1476-4687
URL	http://www.nature.com/nature/
Publishers	Nature Research [Commercial Publisher]
TJ Status	Plan S Approved

こちらのサイトで、journalの著作権を確認することが可能ですが、正式にjournalが出しているものではないため、こちらで検索した結果を裏付資料としてご提出いただくとは出来ません。
journalの著作権の方向性を確認する際の参考にご利用ください。

Publisher Policy

Open Access pathways permitted by this journal's policy are listed below by article version. Click on a pathway for a more detailed view.

Published Version	   None  CC BY  PMC 	 Any Website, Journal Website	+
Accepted Version	 6m  Publisher's Bespoke License 	 Institutional Repository, PMC, Funder Designated Location, +2	+
Submitted Version	 None 	 Institutional Repository, Funder Designated Location, Preprint Repository, +1	+

For more information, please see the following links:

- Preprints and Conference Proceedings
- Self archiving and license to publish
- The fundamentals of open access and open research
- Accepted manuscript terms of use
- Open access policies for journals

Record Information

Sherpa Romeo information is accurate to the best of our knowledge but should not be relied upon for legal advice.

[Suggest an update for this record](#)

[Editorial policies](#)

[Authorship](#)

[Competing interests](#)

[Research Ethics](#)

[Reporting standards and availability of data, materials, code and protocols](#)

[Image integrity and standards](#)

[Plagiarism and duplicate publication](#)

[Corrections, Retractions and Matters Arising](#)

[Peer Review](#)

[Confidentiality](#)

[Acknowledgements](#)

[Preprints & Conference Proceedings](#)

[Press and embargo policies](#)

Self archiving and license to publish

[Clinical Research](#)

Self archiving and license to publish

Publishing licences and compliance with open access mandates.

On this page

- [Nature Portfolio author licence policy](#)
- [Creative commons licences](#)
- [Self-archiving policy](#)
- [Springer Nature terms for use of archived author accepted manuscripts of subscription articles](#)

Nature Portfolio author licence policy

This policy applies to all journals published by Nature Portfolio, including Nature and the journals with "Nature" in their titles. Nature Portfolio's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving policies.

Nature Portfolio does not require authors of original (primary) research papers to assign the copyright of their published contributions. Authors grant Nature Portfolio an exclusive licence to publish, in return for which they can reuse their papers in their future printed work without first requiring permission from the publisher of the journal.

For non-primary articles (including articles such as Reviews, Perspectives, Comments, News & Views), copyright is retained by Springer Nature. This includes, but is not restricted to, commissioned content and all content published in the *Nature Reviews* journals.

General information about licencing policies and re-use can be found at the [reprint and permission website](#).

[Top of page ↗](#)

Creative commons licences Nature Portfolio open access and hybrid journals

Open access articles in Nature Portfolio Journals are published under a CC BY license ([Creative Commons Attribution 4.0 International License](#)). Under Creative Commons, authors retain copyright in their articles. The CC BY license is the most open licence available and considered the industry 'gold standard' for open access. It allows for maximum dissemination and re-use of open access materials and is preferred by many research funding bodies. Under this license, users are free to share (copy, distribute and transmit) and remix (adapt) the contribution including for commercial purposes, providing they attribute the contribution in the manner specified by the author or licensor (read [full legal code](#)). All Springer Nature journals with an open access option offer intergovernmental organisation (IGO) versions of Creative Commons licences on request, where required by the author's employer.

Authors are advised to check their funder's open access requirements, to ensure compliance. For more information about open access licensing, please see "OA licensing and copyright" on our [journal open access policies page](#) on SpringerNature.com.

The Nature Portfolio hybrid journals are Transformative Journals and offer a gold open access option. Please see our external announcement [here](#).

[Top of page ↗](#)

Self-archiving policy

Nature Portfolio's policies are compatible with the vast majority of funders' open access and self-archiving mandates.

Preprints

Nature Portfolio journals encourage posting of preprints of primary research manuscripts on preprint servers of the authors' choice, authors' or institutional websites, and open communications between researchers whether on community preprint servers or preprint commenting platforms.

Preprints are defined as an author's version of a research manuscript prior to formal peer review at a journal, which is deposited on a public server (as described in [Preprints for the life sciences. *Science* 352, 899–901; 2016](#)); preprints may be posted at any time during the peer review process. Posting of preprints is not considered prior publication and will not jeopardize consideration at Nature Portfolio journals. Manuscripts posted on preprint servers will not be taken into account when determining the advance provided by a study under consideration at a Nature Portfolio journal.

Springer Nature has partnered with Research Square (Springer Nature has a majority interest in Research Square) to provide *In Review*, a journal-integrated solution for preprint sharing, supporting authors across all the communities we serve to share their research early. Authors submitting to some Springer Nature journals are also able to publicly share information regarding their peer review through *In Review*. More information about application of *In Review* to Nature journals can be found [here](#); general information about *In Review* at Springer Nature and the Research Square preprint platform can be found [here](#) and [here](#).

Our policy on posting, licensing, citation of preprints and communications with the media about preprints of primary research manuscripts is summarized below.

Authors should disclose details of preprint posting, including DOI and licensing terms, upon submission of the manuscript or at any other point during consideration at a Nature Portfolio journal. Once the preprint is published, it is the author's responsibility to ensure that the preprint record is updated with a publication reference, including the DOI and a URL link to the published version of the article on the journal website.

Authors may choose any license of their choice for the preprint including Creative Commons licenses. The type of CC-license chosen will affect how the preprint may be shared and reused. More information to help guide licensing choices can be found in [these](#) resource documents developed by an ASAPbio licensing taskforce.

Preprints may be cited in the reference list of articles under consideration at Nature Portfolio journals as shown below:

Babichev, S. A., Ries, J. & Lvovsky, A. I. Quantum scissors: teleportation of single-mode optical states by means of a nonlocal single photon. Preprint at <http://arxiv.org/abs/quant-ph/0208066> (2002).

Authors posting preprints are asked to respect our [policy](#) on communications with the media. Researchers may respond to requests from the media in response to a preprint or conference presentation by providing explanation or clarification of the work, or information about its context. In these circumstances, media coverage will not hinder editorial handling of the submission. Researchers should be aware however that such coverage may reduce or pre-empt coverage by other media at the time of publication. We also advise that researchers approached by reporters in response to a preprint make it clear that the paper has not yet

undergone peer review, that the findings are provisional and that the conclusions may change. More information to help guide responsible communication of research reported in preprints can be found in these resource documents developed by the ASAPbio [Preprints in the Public Eye](#) project.

Information about our self-archiving policies and release of Author's Accepted Manuscript may be found [here](#).

Self-archiving of papers published via the subscription route

When an article is accepted for publication in a Nature Portfolio journal via the subscription route, authors are permitted to self-archive the accepted manuscript on their own personal website and/or in their funder or institutional repositories, for public release six months after publication. Authors should cite the publication reference and [DOI number](#) on the first page of any deposited version, and provide a link from it to the URL of the published article on the journal's website.

Where journals publish content online ahead of publication in a print issue (known as advanced online publication, or AOP), authors may make the archived version openly available six months after online publication (AOP).

Please note that the accepted manuscript may not be released under a Creative Commons license. Further information and guidance on self-archiving of articles published via the subscription route can be found on our [open access policies for journals page](#). For Springer Nature's accepted manuscript terms of use, please see: <https://www.nature.com/nature-research/editorial-policies/self-archiving-and-license-to-publish#terms-for-use>.

Self-archiving of papers published open access

For open access content published under a Creative Commons licence, authors are encouraged to deposit the published version immediately on publication, alongside a link to the URL of the published article on the journal's website.

In all cases, the requirement to link to the journal's website is designed to protect the integrity and authenticity of the scientific record, with the online published version on nature.com clearly identified as the definitive version of record.

Manuscript deposition service

To help authors fulfil a number of funder and institutional mandates, Nature Portfolio deposits manuscripts of original research papers in PubMed Central and Europe PubMed Central on behalf of authors who opt-in to this free service during submission. (This service does not apply to Reviews or Protocols.) Only authors whose funders are listed in the number of [participating funders on our website](#) may use this service.

More information on the [Nature Portfolio's Manuscript Deposition Service](#) is available. To take advantage of this service, the corresponding author must opt-in during the manuscript submission process. Corresponding authors should be mindful of all co-authors' self-archiving requirements.

[Top of page ↗](#)

Springer Nature terms for use of archived accepted manuscripts of subscription articles

For articles published within the Springer Nature group of companies that have been archived into academic repositories such as institutional repositories, PubMed Central and its mirror sites, where a Springer Nature company holds copyright, or an exclusive license to publish, users may view, print, copy, download and text and data-mine the content, for the

purposes of academic research, subject always to the full conditions of use. Any further use is subject to permission from Springer Nature. The conditions of use are not intended to override, should any national law grant further rights to any user.

Conditions of use

Articles published within the Springer Nature group of companies which are made available through academic repositories remain subject to copyright. The following restrictions on use of such articles apply:

Academic research only

1. Archived content may only be used for academic research. Any content downloaded for text based experiments should be destroyed when the experiment is complete.

Use must not be for Commercial Purposes

2. Archived content may not be used for purposes that are intended for or directed towards commercial advantage or monetary compensation by means of sale, resale, licence, loan, transfer or any other form of commercial exploitation ("Commercial Purposes").

Wholesale re-publishing is prohibited

3. Archived content may not be published verbatim in whole or in part, whether or not this is done for Commercial Purposes, either in print or online.

4. This restriction does not apply to reproducing normal quotations with an appropriate citation. In the case of text-mining, individual words, concepts and quotes up to 100 words per matching sentence may be used, whereas longer paragraphs of text and images cannot (without specific permission from Springer Nature).

Moral rights

5. All use must be fully attributed. Attribution must take the form of a link—using the article DOI—to the published article on the journal's website.

6. All use must ensure that the authors' moral right to the integrity of their work is not compromised.

Third party content

7. Where content in the document is identified as belonging to a third party, it is the obligation of the user to ensure that any use complies with copyright policies of the owner.

Use at own risk

8. Any use of Springer Nature content is at your own risk and Springer Nature accepts no liability arising from such use.

[Top of page ↗](#)

学位論文に関する情報開示

記入例

2023年 11月 17日

※申請当日の年月日

1 専攻名 総合医学専攻

2 分野名 ●●●●●学

3 氏名 鶴舞 花子

4 学位論文（全著者名、論文タイトル、雑誌詳細）

(例) Tsurumai H, Gakumu J, Lee M, Nagoya S, Smith C J and Meidai-Aichi S.
Significant association of urokinase plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population.
Gene Therapy, 2023 Feb;5(3):539-545.

Tsurumai H, Gakumu J, Lee M, Nagoya S, Smith C J and Meidai-Aichi S.
Significant association of urokinase plasminogen activator Pro141Leu with serum lipid profiles in a Japanese population.
Gene Therapy, 2024 Feb;5(3):539-545.

5 学位論文掲載誌はPubMedのMEDLINEに登録されていますか？（PMCのみはNoになります）

Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

Year

Yes

(注) PubMedのMEDLINEの登録有無は<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentlyindexed>雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

6 学位論文掲載誌はWeb of ScienceのSCIEに登録されていますか？（ESCIはNoになります）

Yesの場合、最新のインパクトファクターはいくつですか。

Noの場合、雑誌創刊年はいつですか。コメントがある場合は以下の欄に記述してください。

IF

Yes

4.184

Year

(注) Web of ScienceのSCIEに登録された雑誌にはインパクトファクターが付きます。

SCIEの登録有無は<http://mjl.clarivate.com/cgi-bin/jrnlst/jlresults.cgi?PC=D&Alpha=A>で検索できます。雑誌創刊年は<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>で検索できます。

7 学位申請者は単独の筆頭著者ですか？（equal contributorとなる筆頭著者が居ない）

Noの場合（複数の筆頭著者）は、筆頭著者の氏名を明記の上、equal contributorsの貢献を具体的かつ詳細に記述してください。回答がNoの場合のみ「同意書」のご提出が必要です。

No

equal contributor 学務 次郎

この実験のデザインや実験に取り組み、その研究成果の執筆を行った。

8 学位論文のcontributorsの開示欄に、学位申請者が、論文もしくは論文ドラフトを書いたことが明示されていますか？

Noの場合、学位申請者が論文執筆にどのような貢献をしたか具体的に記述してください。

学位申請者がこの研究に取り組み、主要なデータを採り、その研究成果をまとめて執筆した。

No

指導教員（自著）

印